



西山の空

令和4年12月22日発行 第9号

柏崎市立西山中学校

<https://www.kenet.ed.jp/nishijhs/>

TEL 48-2150 FAX 48-2252

無関心から愛ある行動者へと変える、教育の営み 校長 須藤 泰司

本校では、豊かな心の涵養を図ること、過去から現在まで続く世の不条理、差別や偏見について学習し、差別を許さない態度を養うこと、そして、誰もが尊重されお互いが助け合っ
てより良い社会をつくっていく人育てを目指し、道徳の授業を核とした道徳教育や、生徒た
ちが自分たちの生活を振り返ったり、お互いの考えに耳を傾けたりする体験的な活動を織り
込んだ展開をしています。

12月は、特に人権について考える月間です。毎年行われ
る「いじめ見逃しゼロスクール集会」ですが、西山中生徒
の実態把握から課題を焦点化し、今年度は「心プロジェクト」
という活動を生徒会が企画運営をしました。「いじめをし
ない、ということだけを考えるのではない。学級で或いは
学年をまたいで、生徒一人一人が尊重され、お互いにつな
がりをもっているか。無関心なままであってはならない。
お互いを尊重し、絆を深めよう。」との意図で、集会が開かれました。縦割り学年集団で、
お互いのつながり方について「安心」「信頼」「共感」の3つをキーワードに話し合いました。
そして、さらには改善に向けての具体策を「勇気の一言」に表し、成果を共有しました。



道徳では、世の中にある様々な差別を学習しつつ、今も残る被差別部落の同和問題を取り
上げ、各学年が真剣に考えました。1年生は、江口いとさんの「人の値うち」という詩を題
材に、学習しました。被差別部落に生まれた江口さん。人間的な内面ではなく、外見や社会
的経済的な肩書や生まれた場所で受ける不当な差別への怒りや悲しみをこめた詩が、短い文
章ではありながら生徒たちの心に突き刺さりました。3年生は、過去の就職の手続きで就職
時に提出する書類が、会社によっては個人の思想や親の財産を記入しなくてはならない物
(社用紙)だったり、面接で聞かれる質問が親の職業や住所、信仰する宗教や支援する政党
を聞かれたりするなど、本人の能力や仕事への適性とは全く関係がないことを知られ、そし
てそれが可否の判断にもなっていたことを知りました。2年生は、結婚差別について、2回
目の授業でした。資料は、差別を受けた男性の実話をもとにしたものでした。ある女性とお
付き合いをしていた大学生の男性が、女性の御両親と会食をしました。両親は男性を気に入
り、和気あいあいとした時間が過ぎていきました。話の流れで、男性は大学の人権サークル
に所属し、過去に被差別部落と呼ばれた地域出身であることを打ち明けました。すると、父
親の態度は急に冷たくなったのだそうです。その後、父は娘に、その男性と別れるよう強く
説教をしました。父はそのことを祖父にも報告したところ、祖父も孫である女性に繰り返し
「別れろ」と迫るのです。女性は、差別をする父や祖父を許せなかった。和解せぬまま、
孫である女性と会えぬまま、祖父は亡くなったそうです。授業では、「誰が一番不幸であっ
たか」と問います。差別を受ける男性、別れろと言われた女性、父、祖父と意見が分かれ、
その理由を深めていきました。不幸だったのは差別を受け続ける男性でしょうか。好きな人
と別れろと言われた女性でしょうか。この差別を受けてきた男性は言います。「一番不幸だ
ったのは、祖父だ。可愛くて可愛くて仕方がなかった孫娘に、死を目前にしても会うことも
できなかった。私を差別し、別れろと孫に迫っていた祖父こそが不幸になってしまった」と。
差別を受けても応援してくれる家族がいた自分はまだ幸せだ、と男性は語ります。差別意識
に縛られた祖父は、人を差別することで身内(家族)の絆を自ら引き裂き、自分が不幸になっ
てしまった、ということです。ここがとても深い深い部分でした。学校生活は日々流れてい
くのですが、こうやって時に立ち止まらせ、差別や偏見について関心を持つよう真剣に考え
させてみるのがとても大切です。その気づきが、やがて愛ある行動へと変わっていくと、
信じるからです。



マザーテレサは言いました。「愛の反対は憎しみではない。
無関心だ」と。人の喜びも痛みも、自分事のように感じられる
豊かな心を育みたいものです。誰もが人として尊重される社会
づくりに資する人間育成に向けて、まだまだ人権学習は続きます。

人権教育・同和教育の取組について

西山中学校の人権教育・同和教育では「にしま心プロジェクト」と題して、生徒会主催の「いじめ見逃しゼロスクール集会」の実施、各学年における授業実践、そして講師による講演会などを積み重ねてきました。ここでは、講演の様子を紹介いたします。

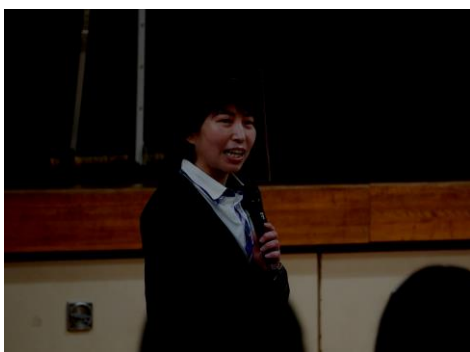
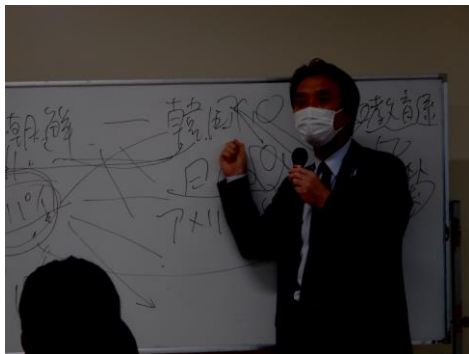
12月1日(木)には、拉致被害に遭われた蓮池 薫様(新潟産業大学准教授)より、「拉致で失ったもの～夢と絆～」と題してご講演をいただきました。

ご自身の切なく苦しい経験を踏まえ、拉致の実態や怖さ、拉致問題はまだ終わっていないこと、今後国や社会が考えていかなければならないことなどを語っていただきました。

柏崎市で生まれ育った蓮池様のお話ということもあり、生徒達は、自分事として受け止めながら、「拉致問題は身近な問題であること」、「今の生活が送ることができるのは、あたりまえではなく幸せなこと」、「夢をもてることが幸せであること」など、一人一人が蓮池さんの言葉やメッセージをしっかりと受け止めることができました。

生徒からは、「これから自分たちにできることは？」の質問に対して、「拉致被害に対して関心を持ち続けること」、「拉致被害に関する運動などがあったら参加してみる」とお答えいただきました。

拉致問題の解決も、様々な人権問題の解決も、正しい知識を知り、それを理解し、関心を持ち続けることが大切であることを深く学べる時間となりました。



12月15日(木)には、YouRbe(ゆあるびい)のYuiTo様から「これからの時代を生きる皆さんへ～Xジェンダーってなんですか？」と題して、ご講演をいただきました。Xジェンダーとは性自認(心の性別)が男性にも女性にも属さないセクシュアリティです。

世の中の様々な人たちの多様性を尊重し、豊かな共生社会の実現に向けてのお話でした。

「もしかしたら自分もXジェンダーかもしれないと思ったら」、「大切な人がXジェンダーだったら」と、生徒の心に問いかけながら、性に対して様々な価値観や考え方があることを認め合うこと、そして相手に真剣に向き合うことの大切さを伝えていただきました。

生徒たちは「自分らしさを見つめ、自分らしく生きていきたい」、「これから様々な人と出会っていくが思いやりをもって寄り添っていきたい」と、自分を大切にすること、そして相手を大切にすることを再確認できました。

日常生活や人権感覚に目を向け、さらに「だれもが認め合い、安心して過ごせる学校や社会」を目指して行動できる人に成長することを生徒たちに期待したいと思います。

よりよい進路、生き方を追求! キャリア教育の実践より ②

〈1年生: 柏崎から発信〉

11月24日(木) キャリア講演会が実施されました。講師は柏崎アニメスタジオの荒尾哲也様、長澤達也様。お二人には、10月にも、2年生の講演会に来ていただきました。

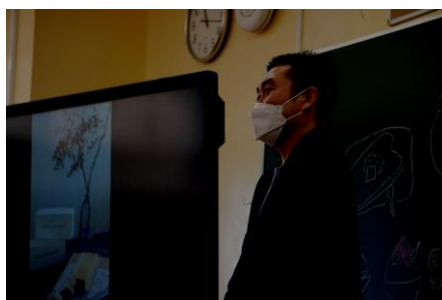


1年生では、生徒自身が新たな目標を立てたり、将来の自分をイメージしたりできるような視点から、柏崎から全国へ発信しようとする強い思いや生き方を中心に話をしていただきました。

〈1年生: 受け継ぐこと、繋ぐこと〉

12月5日(月) 第2回のキャリア講演会では、柏崎市「とらや菓子店」の上野宏太郎様からご講演をいただきました。

長年にわたって受け継いできた伝統や技術を継承しつつ、今の時代と未来を見据え、発展させようという想いを語っていただきました。



生徒達は「受け継ぎたいものは想い」、「人のために頑張ることは尊さであり、自分の幸せ」というメッセージを受け止め、自分自身の生き方について見つめ直す機会となりました。

〈3年生: 将来の生き方を考える〉

3年生では、「将来の生き方を考える」をテーマに、学習を進めています。

11月22日(火)には、柏崎市「オッドアイデア」の渡邊 豊様からご講演をいただきました。

「自分の物差しをもつことの大切さ」や「自分自身を見つめて、ストロングポイントをもつことの大切さ」などをお話しいただきました。



また、12月6日(火)には、車椅子バスケットボール選手の新潟 WBC 所属の松川和彦様からご講演をいただきました。事故によって身体が不自由になりながらも、日々の生活に楽しみを見だし、何事にも諦めず挑戦してきたこれまでの生き方を語っていただきました。また、車椅子バスケットでの交流もさせていただきました。



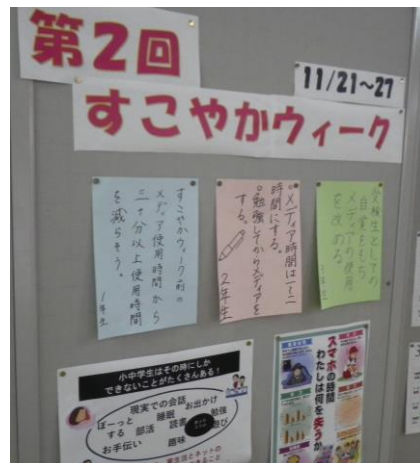
ともにご自身の生き方や、そこにあった想いをお聞きすることで、生徒たちは自分の将来に対する価値観や考え方を深めることができました。

家族そろって生活習慣の見直しを!

西山中学校区の二田小学校、内郷小学校、西山中学校の3校で11/21(月)～11/27(日)に「第2回 西山っ子すこやかウィーク」が実施されました。

これは、メディアの利用時間を意識することで、生活習慣を見直し、学習に集中して取り組んだり、早寝早起きの習慣の大切さを再確認したりする、生活改善への機会とすることが目的でした。取組後の振り返りでは、まだまだ見直しや改善が必要な結果もみられました。

家族そろって生活習慣の見直しやメディア環境を整えることが大切となってきます。冬休みは、メディアとかがわる時間も多くなりますが、メディアの管理や指導は、ぜひ御家庭のルールに沿ってお子さまにお話してください。よろしくお願いいたします。



〈栄光の軌跡〉

新潟県アンサンブルコンテスト 金管四重奏(上越文化会館 12/10)

銅賞 「Cobalt Blue ～未来の空～」



1月の予定

※今後の状況によって、変更する可能性があります

日	曜	予 定	日	曜	予 定
1	日	元日	17	火	
2	月	振替休日 年末年始休業	18	水	
3	火	年末年始休業	19	木	
4	水		20	金	基礎テスト数学③ 西山中へおいで事業
5	木		21	土	
6	金		22	日	
7	土		23	月	
8	日		24	火	
9	月	成人の日	25	水	3年生三者面談
10	火	休業後集会 3年学習の確認⑤	26	木	3年生後期期末テスト
11	水		27	金	3年生後期期末テスト
12	木		28	土	
13	金	基礎テスト英語③	29	日	
14	土		30	月	
15	日		31	火	
16	月				

地域・保護者の皆様

学校では感染症の感染状況を踏まえながら、教育活動を展開してきました。まだまだ活動制限はあるものの、生徒たちは西山中学校の進むべき道を全校で共有しながら、一歩ずつ前進してきました。地域・保護者の皆様から支えていただいたからこそ生徒たちは安心して学校生活を送ることができます。誠にありがとうございました。

来年も西山地区の皆様にとって、すばらしい1年となるようお祈り申し上げます。

それでは良いお年をお迎えください。

西山中学校

右のQRコードにアクセスいただき、学校や生徒の様子をご覧ください。

